

平成17年12月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)
および通期業績予想の修正について

平成17年11月25日

会社名 応用技術株式会社

(JASDAQ・コード番号: 4356)

(URL <http://www.apptec.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 大橋 俊太郎

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
氏名 前原 夏樹

TEL (06) 6373-0440(代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容)

・連結(除外) 1社

四半期財務諸表の開示は、当第1四半期より実施しており、また前期は、決算期変更による2ヶ月決算であったため、前年同期の実績及び比較は行っておりません。

キャッシュ・フロー計算書は、16年12月期は連結、17年12月期より非連結で作成しているため、16年12月期の数値は記載しておりません。

2. 平成17年12月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年1月1日~平成17年9月30日)

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第3四半期	3,760	(-)	76	(-)	79	(-)	101	(-)
16年12月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16年12月期	339	(-)	115	(-)	115	(-)	932	(-)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年12月期第3四半期	3,557	91	3,542	95
16年12月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年12月期	84,841	57	-	-

(注) 1. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率
2. 平成16年12月期は、決算期変更による2ヶ月決算であります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期におけるわが国経済は、製造業を中心に景気回復の兆しが見えはじめていますが、原油高による原材料費の高騰が企業収益を圧迫するなど依然厳しい状況にあります。

製造業、金融業の収益回復を背景に、顧客の情報化投資需要は緩やかに改善しておりますが、受注競争の激化と顧客企業のコストダウン要請は厳しく、情報サービス業界の経営環境は全般的に厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社は株式会社マックインターフェイスと合併して「新生応用技術」としてスタートを切り、売上高、利益面とともに中間期までほぼ計画どおり推移しておりましたが、当第3四半期中において、当初計画より大幅に工数が増加した不採算プロジェクトが複数発生したため、第3四半期の売上高は、3,760百万円、経常利益79百万円、第3四半期純利益は101百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年12月期第3四半期	2,499	962	38.5	33,776	68
16年12月期第3四半期	-	-	-	-	-
(参考)16年12月期	1,449	269	18.6	24,544	85

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第3四半期	48	364	501	529
16年12月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年12月期	-	-	-	-

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態の変動状況

当第3四半期末の総資産は、2,499,011千円であり前期比1,049,195千円増加し、負債は、1,536,950千円であり前期比182,550千円減少しております。純資産につきましては、962,061千円であり前期比1,231,745千円増加し、債務超過は解消されております。

これらの著しい増加は、平成17年1月1日付で、株式会社マックインターフェイスと合併したためであります。

なお、合併により引継いだ総資産は、1,476,141千円、負債は、355,357千円、純資産は、1,120,783千円であります。

キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、48,219千円となりました。これは主に、たな卸資産の増加や厚生年金基金脱退損失引当金の減少による資金の使用があったものの、売上債権の減少、賞与引当金の増加及び税引前四半期純利益を計上したためであります。

投資活動の結果得られた資金は、364,216千円となりました。これは主に貸付金の回収及び不動産の売却を行ったためであります。

財務活動の結果使用した資金は、501,376千円となりました。これは主に金利負担の軽減を目的に借入金の返済を行ったためであります。

なお、上記に記載の合併により、464,102千円の現金及び現金同等物を受け入れており、期末現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首より375,162千円増加し、529,281千円になりました。

添付資料

- ・ 四半期貸借対照表
- ・ 四半期損益計算書
- ・ 四半期キャッシュ・フロー計算書

3. 平成 17 年 12 月期の業績予想（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,370	330	320
今回修正予想（B）	5,400	170	180
増減額（B - A）	970	160	140
増減率（％）	15.2	48.4	43.7

[業績予想に関する定性的情報等]

売上高修正の主な要因は、日本公認会計士協会が平成 17 年 3 月 11 日に発表した情報サービス産業における監査上のガイドラインに基づき、一部業務の売上高を純額（手数料）表示したため、従来基準による表示方法と比較して通期の売上高が 618 百万円減少する見込みであることによるものです。

また、経常利益及び当期純利益については、当第 3 四半期に発生した不採算プロジェクトの影響により減額修正しております。

なお、当該不採算プロジェクトは当事業年度末までに完了する見込みであり、翌期損益に与える影響はありません。

上記の業績につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上

〔添付資料〕

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	529,281	-	-	-	218,740
2 受取手形	152,309	-	-	-	146,955
3 売掛金	746,835	-	-	-	328,130
4 たな卸資産	646,119	-	-	-	335,345
5 その他	59,496	-	-	-	75,082
貸倒引当金	7,943	-	-	-	7,943
流動資産合計	2,126,098	-	-	-	1,096,311
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	112,019	-	-	-	91,075
(2) 器具備品	24,717	-	-	-	15,653
(3) 土地	60,202	-	-	-	91,953
(4) 建設仮勘定	-	-	-	-	1,643
有形固定資産合計	196,939	-	-	-	200,325
2 無形固定資産	61,662	-	-	-	39,419
3 投資その他の資産	124,800	-	-	-	113,760
貸倒引当金	10,490	-	-	-	-
投資その他の資産合計	114,310	-	-	-	113,760
固定資産合計	372,912	-	-	-	353,505
資産合計	2,499,011	-	-	-	1,449,816

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	448,512	-	-	-	250,183
2 短期借入金	428,000	-	-	-	280,000
3 一年以内償還予定 社債	60,000	-	-	-	160,000
4 一年以内返済予定 長期借入金	-	-	-	-	64,926
5 前受金	236,538	-	-	-	43,531
6 賞与引当金	110,816	-	-	-	14,543
7 関係会社整理 損失引当金	-	-	-	-	90,000
8 厚生年金基金 脱退損失引当金	-	-	-	-	48,844
9 その他	153,497	-	-	-	178,319
流動負債合計	1,437,365	-	-	-	1,130,349
固定負債					
1 社債	80,000	-	-	-	180,000
2 長期借入金	-	-	-	-	389,666
3 その他	19,585	-	-	-	19,484
固定負債合計	99,585	-	-	-	589,151
負債合計	1,536,950	-	-	-	1,719,500
(資本の部)					
資本金	1,203,151	-	-	-	674,775
資本剰余金	1,020,689	-	-	-	678,918
利益剰余金	1,260,011	-	-	-	1,617,893
その他有価証券 評価差額金	-	-	-	-	4,618
自己株式	1,767	-	-	-	864
資本合計	962,061	-	-	-	269,684
負債及び資本合計	2,499,011	-	-	-	1,449,816

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	3,760,487	-	-	-	339,479
売上原価	3,012,431	-	-	-	359,407
売上総利益	748,056	-	-	-	19,927
販売費及び一般管理費	671,612	-	-	-	95,838
営業利益	76,443	-	-	-	115,766
営業外収益	15,594	-	-	-	8,004
営業外費用	12,835	-	-	-	8,217
経常利益	79,203	-	-	-	115,978
特別利益	63,674	-	-	-	-
特別損失	21,241	-	-	-	815,288
税引前四半期(当期)純利益	121,635	-	-	-	931,267
法人税、住民税及び事業税	6,611	-	-	-	801
法人税等調整額	13,897	-	-	-	-
四半期(当期)純利益	101,126	-	-	-	932,069

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期)	(参考) 平成16年12月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,219	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	364,216	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	501,376	-	-
現金及び現金同等物の増加額	88,939	-	-
現金及び現金同等物の期首残高	154,119	-	-
合併により受け入れた現金及び現金 同等物の残高	464,102	-	-
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高	529,281	-	-